



節電対応

～ GKN ドライブライン ジャパン(株) ～

東京電力管内での電力使用制限による電力15%削減に向けての本格的な節電が開始され、弊社栃木工場は、稼働日のシフト（土日稼働）を含め、あらゆる諸施策を実施しているところですが、弊社では、電力設備の全体管理を行っている「電気室」の施設内にあるデマンド監視システムで、電力目標値を超過しないよう、毎日、各工場建屋の電力量の測定・監視を行い、電力の安定供給を図っています。

電力規定値の限界域に差しかかった際の緊急措置策、(1)事務所のエアコン停止、(2)事務所照明、工場水銀灯の消灯、(3)設備停止(停止登録制)の3段階の電力制限を設け、日常の節電活動と並行し、全社員一丸となって努力しているところです。これまで気温並びに設備の稼働状況により、ピーク時間帯での電力量が増加し(1)・(2)の電力制限を実施した日もありましたが、7月は15%削減の規定値をクリアしました。合わせて、常に、社員から節電アイデアを募集し、節電意識の向上を図っています。

残りの電力制限期間も、引き続き、節電対応してきたいと思えます。



「建屋の電力の動きを監視」